

地域医療連携室 NEWS

平成 26 年 5 月発行 第 28 号
医療法人札幌清田病院 地域医療連携室

第 34 回地域健康セミナーを実施しました！ 「胃カメラについて」

平成 26 年 4 月 18 日（金）14：30～15：30 当院 2 階会議室にて医師の宮島治也を講師として、
地域健康セミナーを開催しました。26 名の方にご参加頂き、ありがとうございました。

ちょっぴりですが講演のダイジェストをお伝えします★

胃カメラというと、「つらい」「苦しい」「食事制限が嫌だ」「バリウムで十分」「面倒」などのイメージが多いかと思います。

胃カメラをきっかけに早期発見、早期治療を行えば、元気に過ごせる時間が増える…つまり、楽しい人生を送るチャンスが増えると思います。早期胃癌には症状がありません。

早期胃癌だと内視鏡治療で手術をせずに治癒が可能な場合があります。



胃カメラを全くつらくなくするのは難しいです。でも、つらさを和らげるため、次のような工夫をしています。

①鎮静…意識をぼーっとさせたり、眠たくなるお注射をします。これにより、個人差はありますが、苦痛を感じずに検査を終える人もいます。②経鼻内視鏡…鼻腔に麻酔をして鼻からカメラを入れます。当院では 2 月より最新の経鼻内視鏡を導入しました。5.4mm と細く、画質が以前より鮮明になりました（セミナーでは画像にて以前との違いをご覧頂きました）ので、苦痛の軽減・検査時間の短縮になりました。③咽頭反射（オエツとなる）に対しては、経鼻内視鏡検査が向いていますし、むせることに対しては、つばを飲まないようにすること、ゲップに対しては、胃に入る空気量を適切にすることで、つらさを軽減する工夫をしています。

胃カメラは胃を覗くだけではありません。細胞や、ピロリ菌の検査のための生検、出血性潰瘍、食道静脈瘤破裂等の止血、潰瘍や静脈瘤の出血予防、早期胃癌・ポリープ等の粘膜切除の際にも使用します。

セミナーでは胃炎、食道静脈瘤、十二指腸潰瘍、胃ポリープ等の画像を見て頂きました。

何度も強調しますが、早期発見・早期治療が出来るよう、1年に1回は胃カメラ検査を是非、受けて下さい。

次回は、平成 26 年 5 月 22 日（木）『緩和ケア病棟ってどんなところ？』をテーマに、
緩和ケア病棟 看護師長 田熊裕美と医療リハビリカー 福澤公美より、お話をさせていただきます。

皆様のご参加お待ちしております。



平成 26 年 5 月発行 第 28 号

〒004-0831 札幌市清田区真栄 1 条 1 丁目 1-1 地域医療連携室

電話 011-883-6111（代表） 011-883-6114（直通）

発行責任者：医療法人札幌清田病院 地域医療連携室室長 井原康二（副院長）